

「大空港構想」の取組状況について

本構想は、「品格あふれる美しさ」、「先端技術産業等の知の集積」、「九州を支える空港機能」という三つの役割が調和した「日本一広く美しい空港」の実現により、熊本の空の玄関である阿蘇くまもと空港とその周辺地域の持つ可能性を最大化し、熊本の更なる拠点性向上を図るものです。

一昨年の6月、幸せ実感くまもと4ヵ年戦略の中で、本構想の推進を掲げ、この2年間、国際航空路線の振興や空港アクセスの強化、パイロットのふるさとづくり推進などに取り組んで参りましたが、折り返し地点となる現時点で、これまでの取組状況についてご報告いたします。

1 大空港構想における取組みの方向性

【戦略1】東アジア・日本全国との交流拡大

～ヒト・モノ・知の交流拡大～

【戦略2】“優しさ”と“美しさ”の向上・発信

～利便性の向上と熊本の美しさ・イメージの発信～

【戦略3】九州全域への貢献

～防災・観光の拠点化～

2 主な取組状況・成果

- ・ ソウル線週5便化の実現に向けた取組み
- ・ 台湾・中国などとの新規航空路線の開設に向けた取組み
- ・ 空港アクセスの強化（空港ライナー等）
- ・ パイロットのふるさとづくり推進
- ・ 九州を支える阿蘇くまもと空港の広域防災拠点化 等

（参考）大空港構想の推進体制

熊本県理事(兼交通政策・情報局長)をリーダーに、庁内関係部局（知事公室、企画振興部、商工観光労働部、農林水産部、土木部）が横の連携を図るとともに、阿蘇くまもと空港や空港周辺地域の関係機関の協力を得ながら、各取組みを推進。

お問い合わせ先

企画振興部 交通政策・情報局

交通政策課（小金丸・花房）

（内線3562）

（096-333-2168）